

- ④ パネルフォーラム
「在学青年の社会教育活動を振興するために関係機関、団体はどのように連携すればよいか」
パネラー
棚倉町教育委員会社会教育主事 田中利夫
福島県立白河第二高等学校教頭 菅野祐一
保原町中央公民館長 佐藤善右エ門

8 青年学級・青年教室リーダー研修会

(1) 趣 旨

青年学級・青年教室内のリーダーを対象に研修を行い、その資質向上を図り、青年学級・青年教室における学習活動の拡充に資することを目的とする。

(2) 期日・会場・参加者

管内	期 日	会 場	参加者数
県北	6月27日(日)	福島市中央公民館 東和町青少年自然の家	82人
	8月28日(土)～29日(日)		
県中	9月24日(金)～26日(日)	福島県郡山少年自然の家	25人
県南	6月6日(日)	白河市中央公民館 表郷村	40人
	7月3日(土)～4日(日)		
会津	6月19日(土)～21日(月)	国立磐梯青年の家	21人
南会津	6月12日(土)～13日(日)	館岩村 田島町野外活動センター 国立磐梯青年の家	13人
	7月24日(土)～25日(日)		
	9月25日(土)～26日(日)		
相双	8月17日(火)～19日(木)	福島県海浜青年の家	18人
いわき	5月30日(日)	いわき市文化センター いわき市水石山少年自然の家	40人
	7月3日(土)～4日(日)		

(3) 対 象

青年学級・青年教室及び青少年地域活動促進事業においてリーダーとして活躍している者並びに今後リーダーとして活躍が期待される者

(4) 内 容

- ① 学級生等の募集と運営組織づくりについて
- ② 学習内容の編成について
- ③ 学習方法について
- ④ 団体活動やボランティア活動等社会参加活動の進め方について
- ⑤ 学習成果のまとめ方について

9 青年学級生大会

(1) 趣 旨

県内の青年学級生等が一堂に会し、相互の交流・交歓を図りながら、青年学級等における学習の進め方について研究協議を行い、その振興充実に資する。

(2) 期日・会場・参加者

- ① 期 日 昭和57年11月12日(金)
- ② 会 場 福島県青少年会館
- ③ 参加者 141名

(3) 対 象

県内の青年学級生・青年教室生及びふるさと運動仲間づくり事業参加者並びに市町村青年教育担当者

(4) 内 容

- ① 講演 「我が国の食糧問題とこれからの生活」
(社)福島県国際農友会会長

伊達郡保原町長 金子 徳之介

② 意見発表 14名

③ 部会協議

「青年学級の学習内容の充実と社会参加を進めるにはどのようにしたらよいか」 2部会

④ 報 告

「昭和57年度福島県青年国内研修報告」

表郷村 緑川 智子

(5) 助 言 者

福島県公民館連絡協議会長 今泉 修蔵

福島県教育庁社会教育課社会教育主事

七島 征

福島県教育庁県北教育事務所社会教育主事

白坂 良一

福島県教育庁県中教育事務所社会教育主事

金沢 隆夫

(6) 全国青年学級生大会派遣

① 期 日 11月20日(土)～23日(火)

② 会 場 国立三瓶青年の家

③ 参加者 青年学級生・青年教室生 5名 引率者 1名

	氏 名	性別	現 住 所	所属学級
1	菅野 靖彦	男	福島市野町町字二塚5—6	福島市中央青年学級副会長
2	佐藤 浩	男	小野町大字浮金字古沼90—3	小野町青年教室委員長
3	長谷川留三	男	西会津町野沢字中野原甲473	西会津町ヤングスクール自治会長
4	穴戸 弘道	男	富岡町夜の森南1—11—2	富岡町青年教室委員長
5	宮崎 誠志	男	いわき市内郷高坂町桜井93—216	いわき市中央セミナー委員長

- ④ 協議題 「青年学級(青年教室)の学習をより充実させるとともに、社会参加をすすめていくにはどうすればよいか」

10 在学青年社会参加活動育成事業

(1) 趣 旨

青少年の健全育成事業の充実を図るため、社会教育と学校教育とが連携して、高校生の社会参加意識を啓発するとともに、地域活動への参加を促進するための事業を委託しその成果を波及させる。

(2) 委託市町村名

- ・ 県中管内 古殿町
- ・ 会津管内 会津高田町
- ・ 相双管内 鹿島町

(3) 委託期間

昭和57年5月15日～昭和58年3月25日

(4) 委託事業の領域

- ① 少年団体指導技術の習得と少年団体活動への協力
- ② ふるさとを理解し、住みよい地域づくりへの参加とふるさとの文化や伝統の保存・継承への協力活動
- ③ 社会福祉活動や社会奉仕活動への協力活動